

昨年の総会・懇親会の様子を御覧下さい!



7月4日(土)午後2時 OB・OG感謝デー

皆様の御支援に感謝申し上げます、7月4日(土)午後2時~4時、高津高校グラウンドに於いてOB・OG感謝デーを開催します。

● 体育館が使用できないため、雨天中止とさせていただきます。

総会・懇親会は7月4日午後5時半

『百楽』で開催します。

上本町駅 北へ徒歩1分 天王寺区上本町6-2-31
TEL.06-6768-2221

懇親会費7,000円 は会場受付にて現金でお支払いください。但し、卒業後4年間:高64,65期は4,000円、高66,67期は2,000円で優待します。

出席を FAX: 06-6213-4903 ・Eメールにて
OB・OG会事務局宛にご連絡ください。
多数のご参加をお待ち申し上げます。

全OB・OG(約700名)の皆様へ会報を送付するのは、印刷・通信費の負担が重く、前々号までに止める議事を第10回総会にて承認頂きました。前号より、発送費の不要なWEB掲載を主とし、希望者のみに郵送致しております。ご意見など、OB・OG会の事務局: kozu.handball.ob.org@gmail.com へメールください。WEB掲載は、**ブログ** <http://kozu-hand.blogspot.com> 及び **ホームページ** <http://kozu.handball.iinaa.net/> **Facebook** <http://www.facebook.com/KozuHandball> をご覧ください。

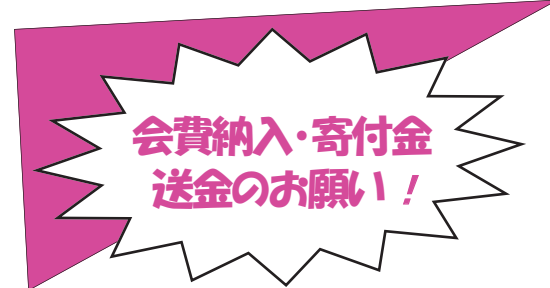


昨年の感謝デー 現役との交流試合を楽しみました!

2014年度 決算

2014/04/01~2015/03/31

繰越金収入	2014年度 繰越金	311,955
年会費収入	3,000×43名	129,000
寄付金収入		320,000
総会費収入	7,000×28名	196,000
総会支出	会場払	▲170,000
現役補助費	チーム登録料、ボール等	▲100,000
会報通信費	部誌2印刷・発送費等	▲266,241
雑費	印刷用紙、振込手数料他	▲486
雑収入	銀行利息	53
差引残高	次年度繰越	420,281



当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。また、現役補助費(チーム登録料等)を充実させるには寄付金も必要ですので、御協力をお願い申し上げます。

趣旨に賛同頂き 2015年度会費 3,000円と寄付金の納入を銀行振込でお願い致します

三菱東京UFJ銀行 生野支店
普通預金No.3999316
口座名「高津高校ハンドボール部OB・OG会 会長 川上貴司」

【事務局】〒542-0074 大阪市中央区千日前1-4-8 千日前Msビル7階
光洋商事株式会社内 川上貴司 Tel.06-6213-1901 Fax.06-6213-4903
E-mail: kozu.handball.ob.org@gmail.com



第11号

発行日 2015年5月5日

大阪府立高津高等学校ハンドボール部 OB・OG会会報

高津ハンドボール

第11回 OB・OG会 総会 開催される



2014年7月5日 午後5時半~8時 総会・懇親会 於 百楽 本店

2015年の 第12回総会と懇親会は、7月4日(土)夕方5時半~百楽 本店(近鉄 大阪上本町駅 北へ徒歩1分)で開催します。

感謝デー集合写真

2014年7月5日 総会前 午後2時~4時

感謝デー(現役と交流) 於 高津高等学校 グラウンド





部誌2 表紙
デザイン:
額田晃作画伯
(高校5期)

昨年、OB・OG 会が発足 10 周年を迎え、『部誌』(1962 年発刊、2012 年復刻)の精神を引継いで半世紀の時を経て『高津クラブハンドボール部誌2』を制作いたしました。ハンドボールを通じ、3 世代に亘る OB・OG の皆様と現役を繋ぐ「縦糸」として、『部誌2』には、多くの方々の想いの詰まった寄稿、OB・OG 会の 10 年の歩みを記した会報、および、卒業アルバムクラブ写真とともにタイムラインで OB・OG 名簿を掲載いたしました。

元顧問の今中啓旦先生はじめご寄稿頂いた皆様、制作にご協力頂いた高津高等学校 校長 村田徹先生、顧問の前田美穂先生と大前雅嗣先生、ならびに同窓会 会長 佐伯剛様と副会長 鴻池司朗様、さらに配布をご希望の OB・OG の方々に贈呈いたしました。

『部誌2』目次は右欄のとおりで、寄稿と会報は、OB・OG 会のホームページ <http://kozu.handball.iinaa.net/> でご覧いただけます。タイムラインに関しては個人情報を含みますので、パスワードによる閲覧制限を設けました。タイムライン閲覧や『部誌2』製本冊子・DVD の送付ご希望の方は、事務局 : kozu.handball.ob.og@gmail.com 宛てメールあるいは FAX: 06-6213-4903 にてご連絡ください。閲覧パスワードや送付先確認を返信させていただきます。

『部誌2』に掲載の高校 13 期 主将 林 毅 先輩からのご寄稿を以下に転載させていただきます。他のご寄稿も是非ご覧いただき、ご意見や追加のご寄稿をお寄せください。

目次	(全 130 頁)
はじめに	……会長 川上貴司 (p.1)
ごあいさつ	……顧問 前田美穂 (p.2)
寄稿	(pp.4~68)
1.半世紀前の思い出・点描	……元顧問 今中啓旦 (p.4)
2.高津送球外史	……5期 額田晃作 (p.7)
3.高津高校ハンドボール部の追憶	……7期 榎本秀一郎 (p.12)
4.高津とハンドボールと私	……8期 西田武彦 (p.16)
5.思い出すまに	……9期 福家清美 (p.18)
6.私とハンドボール	……10期 中江義雄 (p.20)
7.ハンドボールによって育まれた高津の誇り	……11期 中井晴子 (p.23)
8.ハンドボール(送球)と人の繋がり	……11期 柳 朝子 (p.24)
9.回想(第10回記念総会にて)	……12期 大賀康孝 (p.25)
10.文武両道を成す高津高校男子ハンドボール部	……13期 林 毅 (p.27)
11.昭和30年代中期 第1期 黄金期	……13期 渡邊齊頭 (p.30)
12.光陰矢の如し	……14期 寺田美津子 (p.33)
13.高校ハンドボール生活の果実	……15期 岩瀬政治 (p.35)
14.長期 継続のハンドボール歴	……17期 佐藤健二 (p.38)
15.追想:18期 生	……18期 東中幸久 (p.40)
16.高津高校とハンドボールの思い出	……18期 久岡敏博 (p.42)
17.メッセージ	……19期 川上貴司 (p.45)
18.私とハンドボール歴	……19期 玉井達士 (p.55)
19.高津ハンドボール回顧	……20期 稲葉良幸 (p.57)
20.今から想えば	……20期 早島知雄 (p.59)
21.私にとっての高津高校ハンドボール部	……23期 片岡純夫 (p.60)
22.高津高校=ハンドボール=合宿	……26期 中野元博 (p.64)
23.高津高校ハンドボール部に感謝	……26期 塚正泰之 (p.66)
24.ハンドボールとの出会い	……32期 藤本一典 (p.67)
会報(第1号~第10号) — 10年の歩み —	(pp.69~110)
タイムライン(OB・OG会名簿)	(pp.111~125)
OB・OG会規約	(pp.126~127)
編集後記	……26期 中野元博 (p.128)



2015年4月27日 高津高校 校長 村田徹先生、同窓会会長 佐伯剛様、同窓会副会長 鴻池司朗様、顧問 前田美穂先生、顧問 大前雅嗣先生 ~川上貴司会長より『部誌2』贈呈の記念写真(於 高津高校校長室)

部誌2編集委員会 中野 元博(高校26期)

文武両道を成す高津高校男子ハンドボール部

前回の高津クラブハンドボール部誌は、昭和37年1月に発刊された。これは、OB 会が高津クラブとして社会人大会に参加していた、昭和36年の大阪府社会人総合選手権で大阪イーグルスを破り初優勝した記念誌である。大阪イーグルスは日本体育大学 OB で大阪の高校体育教官を中心にしたクラブで大阪の社会人大会では、何回も優勝をしていた強豪チームであった。これにより高津クラブは全日本総合社会人選手権に大阪府代表として出場した。昭和34年に高校男子ハンドボール部が大阪で初優勝し、昭和35年にも優勝があった、OB 会の高津クラブが社会人大会で優勝したことで、高津ハンドボールが大阪で1番になったのである。これを記念して浅野和郎氏(高校12期)が中心となって発刊されたものである。これら全てのことに参加できたことは、私のハンドボール経験では幸運なことであった。

今回は、高津高校男子ハンドボール部のことを、私の在籍していた昭和33年4月から昭和36年3月を中心に振り返ってみたいと思う。当時は、11人制がハンドボールの中心で、冬季に7人制があって、大阪でも12月に7人制の室内選手権があるのみであった。その後、世界情勢により日本も全国的に7人制ハンドボールのみに統一されたのは、昭和38年であったと記憶している。

高津入学当初、私は中学時代、野球をやっていたが高校では、他のスポーツでもやるかなと考えていた。1年生のクラス担任であった今中啓旦先生(当時のハンドボール部顧問教員)がホームルームの時間に、「高校では勉強も大事であるが、クラブ活動などもやって文武両道を達成する有意義な高校生活を送ってほしい。現にハンドボール部の先輩は、それを実践している。」と話された。初めて聞いたハンド

ボールというスポーツは、どんなものかと興味を持ち、練習を見に行った。練習をされていた部員には、高津中学時代の先輩や同輩が多くいて、誘われて入部した。確かに1年先輩の浅野和郎、西原康夫、生野宙考さん達は、勉強もでき、クラブ活動、その上、自治会活動までされていたすごい人の集まりだった。

昭和33年6月から公式戦が始まり、新チームに1年生から GK 増田健、BK 田中聡吉、FW 林毅が参加した。後日談として、引退された GK 石崎寿夫さん(高校11期主将)の後を、増田と林のどちらにするかでもめた聞いて、もし逆になっていたら私のハンドボール人生も変わっていたかもしれない。

新チームは、エース浅野和郎(高校12期主将)さんを中心としたチームでかなりのまとまりを見せつつあったが結果を残せなかったため、コーチをされていた先輩 OB の指導も熱が入った。6月から夏の合宿にかけての猛練習は、高津高校ハンドボール球史にも残るものと思っている。(前の部誌を参考にされたい。)当時の大阪高校ハンドボールは、豊中、桜塚、寝屋川、三国ヶ丘が圧倒的な強さを見せており、我が高津の先輩方もその壁に阻まれて、なかなか頂点に立てず、悔しい思いをされていた。新チームに新しい可能性があったので多くの先輩の後押しがあったと思っている。

11月の秋の地区別新人大会で豊中、桜塚に勝ち、リーグ戦全勝して自信が持て始めた。そして、昭和34年2月、大阪府高校新人大会の決勝戦で三国ヶ丘を12対9で破り、念願の初優勝を果たした。先発メンバーは、

- FW: 浅野、西原、生野、橋本、林、
- BK: 白井、徳山、大賀、小林、田中、
- GK: 増田



写真① これが決勝戦後の記念写真である。

写真の前列左から、生野宙考(2年)、白井康裕(2年)、西原康夫(2年)、浅野和郎(主将2年)、徳山二三夫(2年)、大賀康孝(2年)、小林良三(2年)、橋本浩一(2年)

後列左から、林毅(1年)、永田健吾(2年)、田中聡吉(1年)、増田健(1年)、中江義雄(当時 OB でコーチ、同志社大)、

植村佳久(1年)、斎藤英俊(1年)、土田元夫(1年)、渡辺斉頭(1年)、森憲敬(1年)、中江コーチの右類部のガーゼは前日練習で渡辺とバッチングしたもの。創部以来、先輩方々も念願であった大阪での初優勝は格別であった。

2年生になって、昭和34年4月、大阪府民体育大会で、再度、三国ヶ丘を17対11で破り、2回目の優勝し、大阪第一代表で近畿大会の出場権を得た。近畿大会(於:和歌山)では準決勝で当時全国区だった兵庫県立工業に9対10の1点差で敗れ、残念ながら第3位であった。さらに、6月に行われた全国高校総合体育大会大阪府予選は、決勝戦で三国ヶ丘に8対9で敗れ、全国大会出場はならなかった。

3年生の引退にともない、13期生の新チームとなったが、主将に指名され、驚いた。当時は中江義雄(10期)→石崎寿夫(11期)→浅野和郎(12期)→林毅(13期)と前年の主将が次期を指名することが慣例であった。

新チームの主将としては、他校から、エースの浅野がいない高津は弱体化すると思われていたこともあって不安で一杯であった。中江コーチに指導を受け、同期の仲間の協力で、チーム戦略で活路を見出そうと必死に練習をした。

昭和34年9月、国民体育大会大阪府予選があったが、決勝で桜塚に10対11で敗れ、2位。全国大会出場は、果せなかった。12月の大阪高校室内ハンドボール大会(7人制)では、豊中に勝ったが準決勝で寝屋川に9対10で敗れ、3位であった。

昭和35年2月の大阪府高校新人大会では、寝屋川、三国ヶ丘に勝ったものの、決勝戦で桜塚に9対10で敗れ、2位であった。新人大会2年連続優勝とはいかなかった。

5月の府民体育大会は、準決勝で三国ヶ丘に4対10で敗れたが、3位決定戦で東住吉を11対9で破り、大阪第3代表として近畿大会に出場した。残念ながら奈良育英に4対5で敗れた。

13期生のチームは小粒であったが、ほとんどの大阪府の大会でベスト4以内と健闘した。今から思うと時の運がなかったか、主将の勝負弱さが、優勝までもう一步のところまでしか行けなかった原因であったのだろう。

同期生はよく勉強もしたし、練習では主将を盛り上げてくれたことを感謝している。

副主将の田中聡吉(阪大)、マネージャー兼務の渡辺斉頭(同志社)、GK の増田健(同志社)と共に、FW のパス役として黒子になってくれた植村佳久(慶応)、土田元夫(関学)、途中参加ながら活躍してくれた上嶋幸宏(京大)、BK では森憲敬(京大)、井口邦男(京大)、斎藤英俊(京大)のみんながしっかり支えてくれた。

高津高校男子ハンドボール部の良き伝統、文武両道を成すは、しっかりと守られたと思っている。私を含めた上記10名は健在で、1年に1度同期会をして旧交を温めている。

後輩諸君のがんばりで、我々の果たせなかった夢が実現するのを期待しております。

林 毅 (高校13期 主将)